

登録コード	E2920900	開講年度	2026				
授業科目	英語コミュニケーション基礎					担当教員	山本 大貴
英文授業名	Fundamental English Communication Skills					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・3時限	対象学生	2～4年生
講義室	教育N101講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				優れた英語教員になるために、英語力や、生徒と英語でコミュニケーションする力の向上を目指して努力し続ける姿勢を身につける。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				英語の発音に関する知識・技能、英語コミュニケーション能力、言語活動をデザイン・実践・評価する能力を身につける。		
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本講義では、言語活動のデザインの際に留意すべき点を学び、教員やクラスメートがデザインした言語活動を体験・評価したり自分で言語活動をデザインしたりすることを通して、英語教員としての資質を向上させることを目指す。さらに、発音について学んだり、言語活動に参加したりすることを通して、英語コミュニケーション能力を高める。						
(5)授業計画	以下の項目のうち、【 】内は中学校や高等学校の教科書で扱われる言語活動を示し、自分たちがその言語活動を英語で行う。 第1回：ガイダンス 第2回：コミュニケーション能力（英文解説を読み、要点を把握し、英語でその意義を議論する）【中学校・話すこと〔発表〕】 第3回：Canale & Swain のモデル（文法能力・談話能力）（英文解説を読み、要点を把握し、英語で具体例を発表する）【中学校・話すこと〔やり取り〕】 第4回：Canale & Swain のモデル（社会言語学的能力・方略的能力）（英文解説を読み、要点を把握し、英語で具体例を発表する）【高等学校・話すこと〔やり取り〕】 第5回：Savignon のモデル・Bachman のモデル（英文解説を読み、要点を把握し、その違いについて考えたことを英語で作文する）【高等学校・話すこと〔発表〕】 第6回：Hallidayのモデル・Cumminsのモデル（英文解説を読み、要点を把握し、その違いについて考えたことを英語で作文する）【中学校・領域統合型の言語活動・タスクを中心として】 第7回：高等学校の教科書で扱われている論説文を読み、その要点を把握する。また、どのように指導に活かすことができるか、英語で議論をする。【高等学校・領域統合型の言語活動・ディスカッション】 第8回：高等学校の教科書で扱われている物語文を読み、その概要を把握する。また、どのように指導に活かすことができるか、英語で議論する。【高等学校・領域統合型の言語活動・ディベート】 第9回：パラグラフライティングの書き方（モデル文を読み、その書き方の特徴を理解する） 第10回：パラグラフライティングの書き方（中学校や高等学校で扱われている言語活動についての意見文を英語で書く） 第11回：TED Talk などのプレゼンテーションの動画を視聴し、その概要を理解する。自分のプレゼンテーションを準備する。【遠隔等】 第12回：TED Talk などのプレゼンテーションの動画を視聴し、その概要を理解する。自分のプレゼンテーションの練習をする。 第13回：プレゼンテーション 第14回：第8回～第13回の講義を踏まえたディスカッション・授業アンケート実施 *教育実習等で欠席した場合、授業の録画を見て、課題に取り組んでください。必要があれば遠慮なく質問をしてください。						
(6)成績評価の方法	【達成目標1の評価】 ・最終レポートのリフレクション・目標設定に関する質問への回答（20%）… 授業で何を学びそれを今後どのように活かすかや、英語力・英語教員としての資質をさらに向上させるために今後何をすべきかについて具体的かつ適切に考えられているか評価する。 【達成目標2の評価】 ・最終レポートの発音に関する質問への解答（20%）… 授業で説明した英語の発音方法についての理解度と、それを生徒に説明する力を評価する。 ・活動評価シート（30%）… 授業中に行った言語活動の優れた点や改善点を分析する力を評価する。 ・グループでデザインした言語活動のデモンストレーション（30%）… 言語活動をデザインする力と、それを英語で実施するのに必要な英語力を評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀、89-80% 優、79-70% 良、69-60% 可、59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	「卓越している」：コミュニケーション能力に関する現象や理論の諸概念を正確に理解し説明しており、教室場面での学習者の英語の学びを適切に考察している。また、CEFR のB2相当の英語力が認められる。						

(7)成績評価の基準	「かなり上である」：コミュニケーション能力に関する現象や理論の諸概念の多くを正確に理解し説明しており、教室場面での学習者の英語の学びを適切に考察している。また、CEFRのB2相当の英語力が認められる。 「やや上にある」：第二言語習得に関する現象や理論の諸概念のいくつかを正確に理解し説明しており、教室場面での学習者の英語の学びを考察している。英語力が、CEFRのB2に達しない。 「水準にある」：第二言語習得に関する現象や理論の諸概念をだいたい理解し説明しており、教室場面での学習者の英語の学びを考察しようとしている。英語力が、CEFRのB2に達しない。
(8)事前事後学習の内容	・授業で学んだこと、考えたことをまとめたレポートの作成。 ・プレゼンテーションの準備。 ・この授業は90時間の学修を必要とする内容です。したがって、60時間以上の時間外学習が必要となります。
(9)履修上の注意	本講義は、英語で行うこともあります。
(10)質問，相談への対応及び連絡先	質問や相談は大歓迎です。メールアドレス: yamamoto_hiroki@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	特に指定しません。必要に応じて資料を配付します。
【参考文献】	酒井英樹・廣森友人・吉田達弘編著 (2018). 『「学ぶ・教える・考える」ための実践的英語科教育法』大修館書店。 静哲人 (2019). 『日本語ネイティブが苦手な英語の音とリズムの作り方がいちばんよくわかる発音の教科書』ティエス企画